

大久保 規子

法学研究科・教授

【研究】

今年度は、第1に、前年度に続き、自然の権利に関する学際的な研究プロジェクト(科研費基盤A:研究代表者)を推進し、欧州、南米調査等を実施した。第2に、コミュニティ参加型の自然資源管理に関しても、北タイに焦点を当てて日本及びタイの研究者による協働研究(科研費国際共同B:研究代表者)を継続し、バンコクでの関係行政機関ヒアリング等を行った。そのほかにも、学内ではSSIの基幹研究プロジェクト(研究代表者)を継続実施し、学外でも高レベル放射性廃棄物、気候変動等に関する科研等の共同研究に分担者として参加するなど、上記2つの研究を柱に関連する研究を進めた。そして、これらの研究成果を9本の論文として公表し、国内外での学会報告等を行った。

【教育】

法学部では、行政法の大人数講義科目のほか、ゼミの授業時間外の活動にも力を入れ、大学の自主研究奨励事業研究も指導した。また、課程博士論文1本の指導を行った。

【管理運営】

前年度に引き続き、副研究科長を務めた。

【社会貢献】

前年度に引き続き、中央環境審議会委員、交通政策審議会委員、文科省環境エネルギー科学技術委員会委員、大阪府公害審査会委員、環境審議会委員(京都市、神戸市等)、環境影響評価審査会委員(尼崎市、京都市等)等、国及び自治体の審議会等で、新たな施策の立案、適正な紛争処理に等に努めた。また、環境法政策学会、日本公法学会の理事等として学会の運営に参加するとともに、日本学術会議会員として各種作業に従事した。さらに、NGO等が主催する講演会等において、研究成果の社会還元にも努めた。